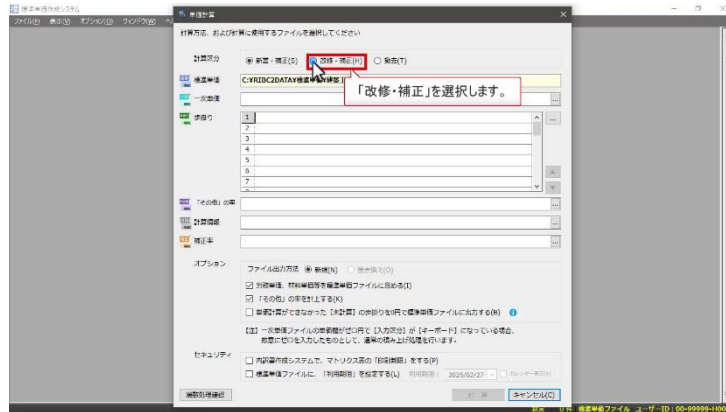


7.標準単価ファイル

①標準単価ファイルの新規作成と単価計算

b.単価計算（執務並行改修工事の計算を行う）

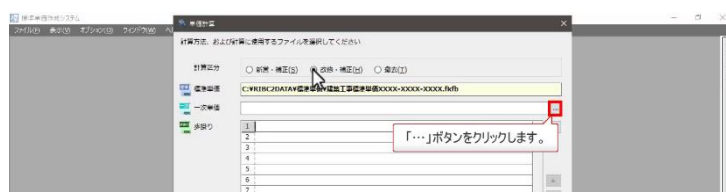
- ① 単価計算の設定をします。
今回は週休2日促進工事（月単位）の、執務並行改修工事の計算を行います。
「改修・補正」を選択します。



ここで、計算区分について説明します。
「新営・補正」は、新営工事および全館無人改修工事の計算をする場合に選択します。
「改修・補正」は、執務並行改修等の割増単価の計算の場合に選択します。
「撤去」は、新営歩掛りを補正した労務歩掛りによる撤去単価の計算となります。
なお、撤去は設備工事のみとなります。

計算区分
新営・補正 ・新営および全館無人改修の計算
改修・補正 ・執務並行改修等の割増単価の計算
撤去 ・新営歩掛りを補正した労務歩掛りによる撤去単価の計算 ※設備工事のみ

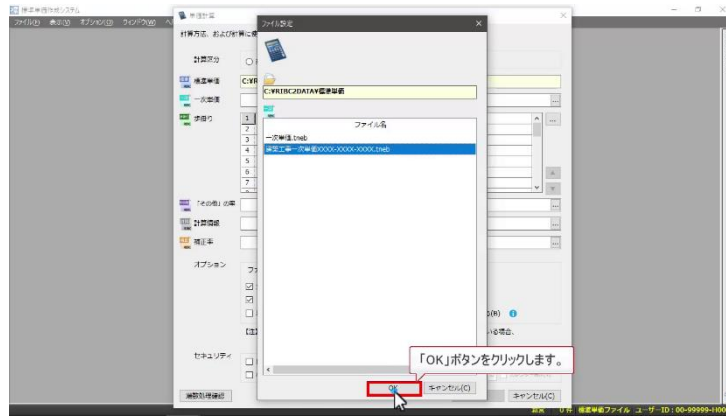
- ② まず一次単価ファイルを設定します。
「...」をクリックします。




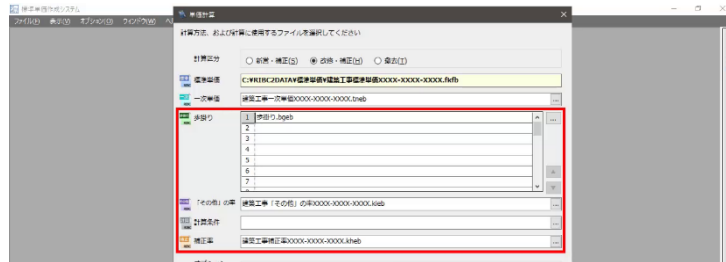
- ③ ファイル設定画面から計算に使用する一次単価ファイルを選択します。
ここでは、「建築物一次単価年月日時分」となっている一次単価ファイルを選択します。



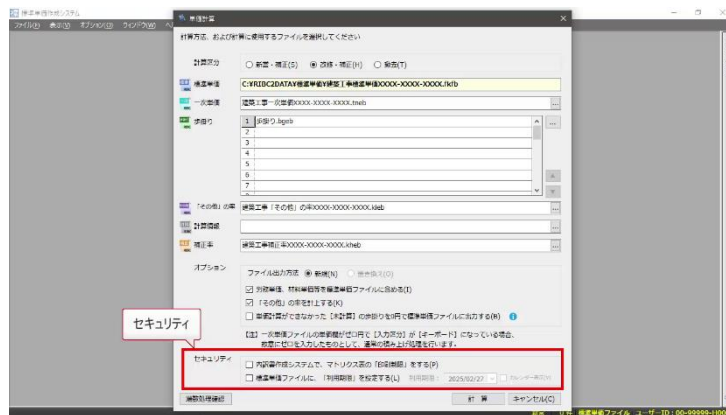
④  をクリックします。



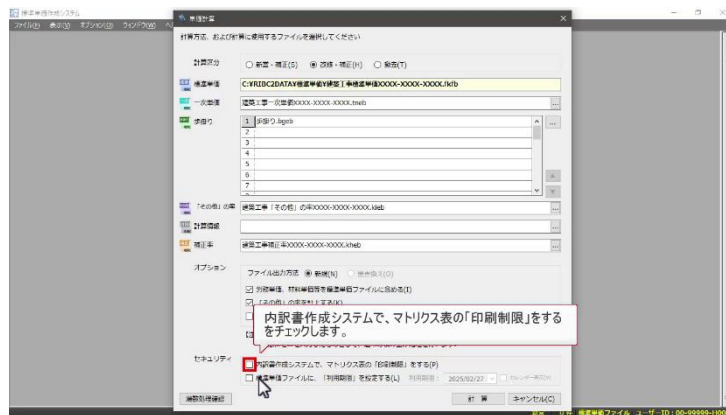
一次単価ファイルを設定すると、抜き取り作業のときの情報が反映され、歩掛りファイルや、「その他」の率ファイル、補正率ファイルが自動で設定されます。設定されていないファイルがある場合は、 からファイルを選択します。



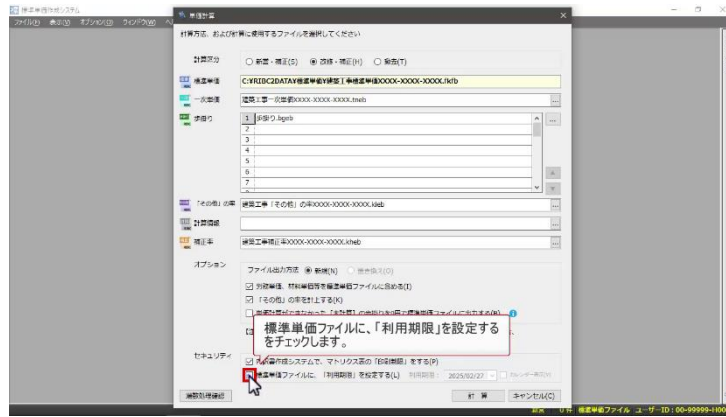
次に、セキュリティの設定をします。



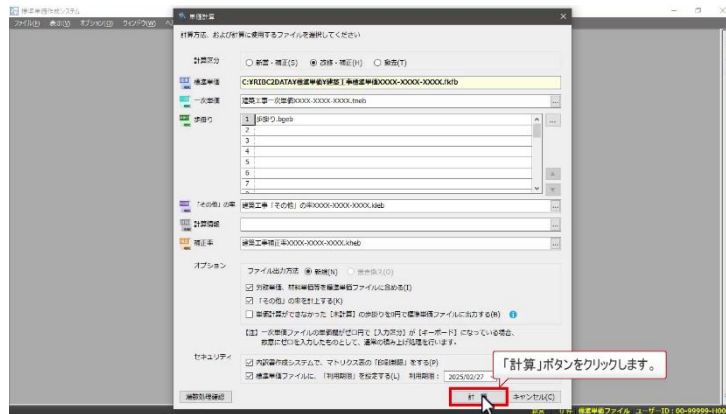
⑤ 内訳書作成システムで、マトリクス表の印刷制限をしたい方は、「内訳書作成システムで、マトリクス表の印刷制限をする」にチェックをします。



- ⑥ 標準単価ファイルに、利用期限を設定したい方は、「標準単価ファイルに、利用期限を設定する」にチェックをします。



- ⑦ 単価計算をします。
計算 をクリックします。



単価計算時のオプション設定について説明します。

単価計算のオプション

ファイル出力方法
労務単価、材料単価等を標準単価ファイルに含める
「その他」の率を計上する
単価計算ができなかった〔未計算〕の歩掛りを0円で標準単価ファイルに出力する

「ファイル出力方法」は、既存の標準単価ファイルについて単価計算をする際の出力方法です。



「新規」は登録されているすべての行を削除してから計算結果を登録します。

品目	品名	単位	決定単価	材料費	労務費	修正率	品率
手元	手元	手元	手元	手元	手元	手元	手元
丸鋼	丸鋼	kg	79,000	70,500		1	0.88
丸鋼	丸鋼	kg	88,000	88,000		1	1.00
丸鋼	丸鋼	kg	99	99		1	1.00
丸鋼	丸鋼	kg	97	97		1	1.00
丸鋼	丸鋼	kg	0	0		1	0.00
丸鋼	丸鋼	kg	140	118		1	0.84

「置き換え」は登録されている行の単価欄を0円クリアして、計算結果を置換します。

今回のように、標準単価ファイルを新規作成するときは、「新規」のみ選択することができます。

「労務単価、材料単価等を標準単価ファイルに含める」にチェックをすると、計算に使用した一次単価ファイルの材料単価や労務単価を標準単価ファイルに登録することができます。

単価計算のオプション

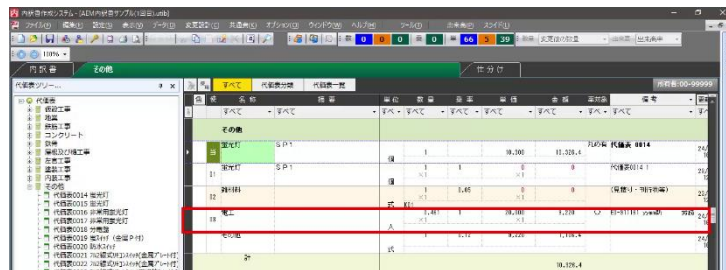
労務単価、材料単価等を標準単価ファイルに含める

- ・ 計算に使用した一次単価ファイルの材料単価や労務単価を標準単価ファイルにコピーします。



材料単価
労務単価

代価表を作成する場合等、労務単価や材料単価を参照する必要がある場合は、標準単価ファイルに一次単価を登録します。



「「その他」の率を計上する」は、「その他」の率を使用して計算を行う際にチェックをします。

単価計算のオプション

ファイル出力方法

労務単価、材料単価等を標準単価ファイルに含める

「その他」の率を計上する

- ・ 「その他」の率を使用して計算をします。

単価計算ができなかった[未計算]の歩掛りを0円で標準単価ファイルに出力する

「単価計算ができなかった[未計算]の歩掛りを0円で標準単価ファイルに出力する」にチェックをすると、未計算の歩掛りが0円として標準単価ファイルに出力されるので、未計算の原因を確認することができます。チェックをしない場合は、未計算の歩掛りは標準単価ファイルに出力されません。

単価計算のオプション

ファイル出力方法

労務単価、材料単価等を標準単価ファイルに含める

「その他」の率を計上する

単価計算ができなかった[未計算]の歩掛りを0円で標準単価ファイルに出力する

- ・ チェックをすると、未計算歩掛りが0円として、標準単価ファイルに出力されます。
- ・ 標準単価ファイルの未計算歩掛りから、歩掛りファイルにジャンプすることができるため、計算できなかった原因を確認することができます。
- ・ 内訳書作成システムにおいて、未計算の単価を使用することができます。
- ・ チェックをしないと、未計算歩掛りは、標準単価ファイルに出力されません。

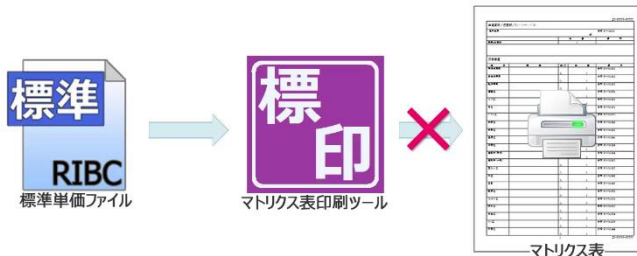
次に、標準単価ファイルに対するセキュリティの設定について、説明します。

「内訳書作成システムで、マトリクス表の印刷制限をする」は、チェックをすると、内訳書作成システムから起動ができる、マトリクス表を印刷するツールで、マトリクス表を印刷できないようにします。

標準単価ファイルに対するセキュリティ

内訳書作成システムで、マトリクス表の「印刷制限」をする

- ・内訳書作成システムの「マトリクス表印刷ツール」等を使って、単価計算を行ったユーザー以外が、マトリクス表を印刷できないようにします。

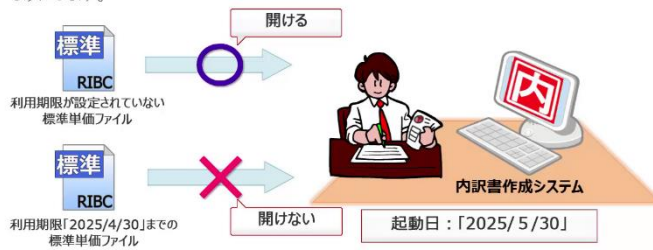


「標準単価ファイルに、利用期限を設定する」は、チェックをすると、内訳書作成システムで、利用期限を過ぎた標準単価ファイルを利用できないようにします。

標準単価ファイルに対するセキュリティ

標準単価ファイルに、「利用期限」を設定する

- ・内訳書作成システムにおいて、「利用期限」の過ぎた標準単価ファイルを利用できないようにします。



なお、標準単価ファイルに対するセキュリティの設定は、[ファイル]メニューの[ファイルプロパティ]から、変更したり、解除したりできます。

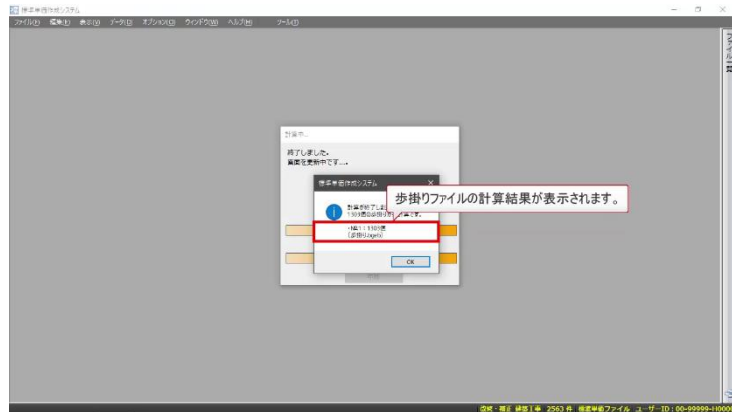
標準単価ファイルに対するセキュリティ

内訳書作成システムで、マトリクス表の「印刷制限」をする

標準単価ファイルに、「利用期限」を設定する

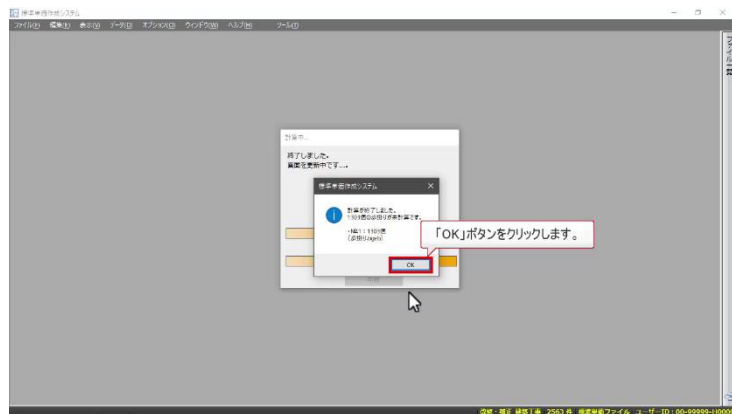


単価計算が終了すると、確認メッセージが表示されます。
 メッセージを確認します。
 メッセージには、未計算歩掛りの総数と、
 各歩掛りファイルの未計算歩掛りの個数が表示されています。



今回は歩掛りファイルを1つだけ設定をして、単価計算を行いました。
 メッセージ内の歩掛りの順序は、単価計算画面での設定順序となります。
 ここでは、「歩掛り」ファイルの計算結果が表示されています。

⑧ 確認メッセージの をクリックします。



品目	単位	標準単価	材料種	片割率	材工事	備注
棒鋼	kg	70.000	70.000			
丸鋼	kg	68.000	68.000			
鋼材	kg	99	99			
棒鋼	kg	100	100			
丸鋼	kg	100	100			
鋼材	kg	100	100			
棒鋼	kg	100	100			
丸鋼	kg	100	100			
鋼材	kg	100	100			